

アジア国際社会福祉研究所 kara

No.56 2023.10.6.

編集・発行責任者 戸塚 法子

モンゴル国での研究交流と今後の発展に向けて —Open Mind Mongolia 2023 へ参加—

2023年9月27～30日にかけて、アジア国際社会福祉研究所（ARIISW）とモンゴル国立大学（NUM）人文科学部との基本合意書（MOU）をもとに、5名の淑徳大学訪問団がモンゴル国ウランバートル市内へ渡航いたしました。2023年6月にNUM訪問団の淑徳大学来訪を通じて招待された、国際会議オープン・マインド・モンゴリアへ参加したところ、成功裏に開催されました。



NUM 学長表敬



所長基調講演

戸塚法子所長が基調講演（「東洋生まれの実践哲学が西洋生まれのソーシャルワークに語りかけるもの」）を務めたところ、参加者から大きな関心が寄せられました。

また、NUM と ARIISW による共同セッション「包摂的な社会変革に向けた障害と開発の政策・実践：ソーシャルワークへの示唆」（座長：東田主任研究員）を実施し、NGO からオンダラフバヤール氏、労働社

会保障省からボロロ氏、国際協力の立場より千葉寿夫・博士（JICA/DPUB2・コーエイリサーチ&コンサルティング）、NUM よりドウガルスレン教授、淑徳大学より池畑美恵子・准教授が登壇し、活発な議論が行われました。共同セッションの報告書が今後作成される予定です。

加えて、郷堀ヨゼフ教授と本学大学院生・西野しおりさんによる口頭発表もありました。

さらに、NUM の Dendev 学長への表敬訪問と、NUM と淑徳大学訪問団による今



共同セッション（討論場面）

後の関係強化に関する会議が行われ、大学間での学生・院生交流を含む可能性等について意見交換・協議がなされました。そのほか、仏教ソーシャルワーク研究に関する協議（郷堀プログラム研究員ほか）や国際ソーシャルワーク教育研究に関する意見交換なども行われました。

NUMをはじめとする関係者の皆様方の手厚い歓迎・おもてなしにより、訪問団一同が充実した渡航・研究交流を行うことができたことに心から感謝申し上げます。ARIISW および淑徳大学と各組織との協力関係が次の一步につながることを切に願っています。



仏教ソーシャルワーク研究に関する会議

モンゴル国立教育大学との基本合意書(MOU)更新の調印式

2019年12月20日に締結されたモンゴル国立教育大学教育学部とARIISWのMOUについて、2023年9月29日に更新の調印式が開催されました。これまでの仏教ソーシャルワーク研究等における協力関係をさらに発展させるべく、今後の様々な共同研究の可能性等について建設的な協議も行われました。



◆アジア国際社会福祉研究所のニュースは当研究所のホームページよりご覧いただけます。

<https://www.shukutoku.ac.jp/university/facilities/asiancenter/>

◆淑徳大学内ではSナビにて月1回程度配布されます。